



イラク派遣部隊活動報告

16. 2. 27

陸自派遣隊

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 般

- ◎ サマワ主力
 - ・ 主力第1波第1梯隊第2梯隊サマワ陸自宿営地到着、異常なし。
 - ・ 人道復興支援活動調整
宗教指導者()訪問
 - ・ 給水車6両、陸自宿営地保管に関わる調整
- ◎ クウェート分遣班
 - ・ 主力第1波国境通過支援
- ◎ バクダッドLO
 - ・ を通じた情報収集
- ◎ バスラLO
 - ・ 主力第1波の移動間の不測事態対処準備
 - ・ MJLC(連合国統合兵站調整所)との調整

16.2.27

装備の現況 (車両等)

		車両											計	
		小型	中型	軽装甲	高機動	WAPC	施設器材	水タンク	燃料	セヨレ	大型	浄水セット		修理車
イラク	サマワ		3	18	12	3	10	2	3	3	7	2	1	81
	シャイバ													
	バスラ													
	バクダッド													
	計		3	18	12	3	10	2	3	3	7	2	1	81
クウェート	キャンプVA	1		4	2									7
	CFLCC													
	計	1		4	2									7
総 計		1	3	22	14	3	10	2	3	3	7	2	1	88

現地の治安状況等	
報告項目	報告内容
派遣先国・派遣先地域の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ サマーワ。 特異動向なし。 ○ ルマイサ。 特異動向なし。 ○ キツダ。 2月25日、サマーワからキツダの間のユーフラテス川北岸付近で、イラク警察官がバグダッドナンバー車両に乗った不審者に職務質問中、発砲を受ける事案発生。不審者は車両を乗り捨てて逃走。負傷者なし。 ○ ムサンナ県全般の評価。(N/C) <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人を動揺させるために日本のメディアに対する小規模な攻撃を行う可能性は否定できない。 ・ 現地住民は我々の部隊交代を知っているため、この間においては特に警戒を厳にする必要がある。

宗教指導者について	
○ 訪問先	<p>■■■■■■■■■■氏(ムサンナ県における■■■■■■■■■■の代理人。■■■■■■■■■■も訪問したことがある)</p> <p>○ 訪問日時 2月27日(木)1000~1100</p> <p>○ 訪問者 隊長、■■■■■■■■■■ 現地通訳及び外務省サマーワ事務所長 以下2名</p> <p>○ ■■■■■■■■■■ 発言内容</p> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 150px; margin-top: 5px;"></div>

現地の気象情報

報告内容

日の出 : 0556
 日の入り: 1812
 天 候: 晴れ
 気 温: 最高21°C 最低8°C

28日(土)の活動予定

サマワ本隊

隊長(J1)	隊長(J2)	宿营地工事組(J3)	役務車両誘導組(J4)
0755集合、国旗掲揚0800、隊長へのブリーフィング0900-1030			
0900-1030:ブリーフィング受け 1330-1430:国軍大隊長表敬 1500-1530:県知事表敬 1600-1700:サマワ市評議会 1800:宿营地	0900-1030:隊長へのブリーフィング 1030:宿营地発、CPA 1130:ダラウシャ族長との懇談 1330-1430:国軍大隊長表敬 1500-1530:県知事表敬 1600-1700:サマワ市評議会 1900:CIMICミーティング 2030:人道復興関連団体との調整	0830:宿营地発、CPA 通訳本據 工事の概要説明 じ後整備工事 測量、1t土裏作 成、表地作業、 警戒 人員31名	0700:陸自宿营地発 1400:サファン港 1530:シャイバ港
1900~1930:日々ミーティング 2030:外務省とのミーティング			
人員15名 車両4両 HMV×2 LAV×2	人員8名 LAV×1 HMV×1	人員8名 車両4両 8名 全作業人員31名	人員6名 LAV×2

28日(土)の活動予定				
サマーワ本隊				
主力誘導組(J5)	広報①(J6)	広報②(J7)	要衛(J11)	GRF(J20)
0755集合、国旗掲揚0800、群長へのブリーフィング0900-1030				
0500:バージニア発 1600:陸自宿営地着	1330:陸自宿営地発 1400:県知事表敬時の広報支援 じ後、群長、隊長と同行、広報支援 1800:陸自宿営地着	0700-0830:国旗掲揚時の広報対応		
1900~1930:日々ミーティング 2030:外務省との調整				
人員6名 車両2両 HMV×1 LAV×1	人員6名 車両2両 LAV×2	人員4名 車両2両 大型×2		

28日(土)の活動予定				
サマーワ本隊				
人道復興支援調査(J8)	宿営地作業(J9)	整備作業組(J10)	巡察経路偵察組(J12)	業務調査(J13)
0755集合、国旗掲揚0800、群長へのブリーフィング0900-1030				
0830とずるも、ブリーフィング終了後、前進 じ後、CPAIにて業務調査 1500:陸自宿営地着	長 [REDACTED] 残留者全員 コンテナ組卸、土嚢作成、コンテナ資材卸下			
1900~1930:日々ミーティング 2030:外務省とのミーティング				
人員9名 車両2両 HMV×1 LAV×1		人員10名 車両2両 クレーン×1	人員9名 車両3両 LAV×3	人員6名 車両2両 LAV×2

28日(土)の活動予定

クウェート分遣班	バクダッドLO	バスラLO
<ul style="list-style-type: none"> ・ 主力第1波の国境通過支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ████████を通じた情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主力第1波の不測事態対処準備 ・ MJLC(連合国統合兵站調整所)との調整

詳長の行動

- 本日(27日)
 - 0500~1430: サマワへの移動
 - 1500~1510: 取材対応

- 明日(28日)
 - 0900~1030: 隊長の状況報告受け
 - 1330~1430: 蘭軍大隊長表敬
 - 1500~1530: ムサンナ県知事表敬
 - 1600~1700: サマワ市評議会表敬

隊長の行動

- 本日(27日)
 - 0800~0900:取材対応
 - 1000~1130:宗教指導者()との懇談
 - 1230~1330:取材対応
 - 1430~1700:群長への報告等
 - 2030~2130:外務省との調整
- 明日(28日)
 - 0900~1030:群長への状況報告
 - 1130~1230:ダラウシャ族との懇談
 - 1330~1430:蘭軍大隊長表敬同席
 - 1500~1530:ムサンナ県知事表敬同席
 - 1600~1700:サマワ市評議会表敬同席
 - 1800~1900:プルハ族との懇談
 - 1900~2000:CIMICミーティング
 - 2030~2130:人道復興関連団体との調整

16. 2. 27

クウェート所在部隊業務報告(陸幕展開支援班・クウェート分遣班)

全 般

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○陸幕展開支援班・クウェート分遣班とも異状なし ○人員報告:所属人員23名、事故人員0名、現在員23名、異状なし
 ()はCV治) ○主力第1波移動支援、役務トラック事前点検等を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○天候:晴 ○気温:27~8度、湿度53~18% ○風向:南西 0~2m/s |
|--|--|

本日の活動状況

- 主力第1波移動支援:ナビスターまでの誘導、国境通過手続き等の支援
 CV出発0500 ナビスター着0740 主力第1波国境通過0841
 (陸自32両128名、民間1両2名(フューチャーサービス社トイレ×20))
- 役務トラック事前点検:28日輸送予定車両の再点検
 26日点検不備車両13両を再点検し、異常なし
- 移動準備:コンテナのトレーラへの積載
 トレーラ(施設器材)×2両、トレーラ(天幕)×3、トレーラ(コンテナ)×16両の積載完了

明日の予定

- 支援料(コンテナ輸送)移動支援
- 主力第1波第3梯隊(自衛隊車両6両、役務車両22両)の移動のため、ナビスターまでの誘導等の移動支援
- 英国軍S T T (Short Term Training Team)による教育(2/29、3/1)のための準備

その他(教訓・要項事項等)

日々業務内容 (CJTF-7LO)

2月27日

区分	内容
実施した事項	<ul style="list-style-type: none"> ● ナショナルLO <ul style="list-style-type: none"> ● [redacted]等を通じて治安情報及び作戦状況の情報収集 (送信済み。) ● Al-Ramadi から Al-Faluja 間の道路については引き続き閉鎖されていることを確認した。依然として大型車両等の通行は困難と思われる。 ● Ashura に関して引き続き情報を収集し、本隊の移動経路である R8 の通行には問題の無いことを確認した。 ● 陸幕から問い合わせのあった周波数に関する調整を実施し、日本の使用できる HF・VHF の周波数について陸幕に送信した。さらに、衛星通信及び VHF・HF の周波数がすでに使用できることを確認した。 ● 空輸関係に関する調整を実施し、日本の物資を Coalition の航空機で輸送する場合の窓口は CFLCC であり、空輸を伴う場合は JMC format、陸送のみの場合は TMR format の様式で作成することを確認した。(細部は添付資料を参照) ● 3月2日に [redacted] がクウェートへ移動する件について調整を実施した。 ● スタッフLO <ul style="list-style-type: none"> ● ナイトシフトとして C-2 勤務 ([redacted]) ● C-9 勤務 ([redacted])、JOPRI ライオンズ担当
問題点	<p>特になし。</p>
明日の予定	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務支援隊及び統幕からの情報要求に基づき、[redacted] 及び C3 Coalition 幕僚等を通じ情報収集・調整 ● 道路状況及び郵便業務 ● 日本隊の Force Protection に関する調整の継続
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 大使館から上村公使以下3名が CJTF-7 (コンテナ) に宿泊 (本日1名がアンマンから新たに入国)